

ボランティアが 活躍活動づくり 基礎講座

市民活動や地域活動にとってボランティアの受け入れはともに地域や社会の困りごとに取り組む仲間を増やすこと。ボランティアは単なるマンパワーではなく活動に多様性や広がりをもたらしてくれる存在です。ボランティアにイキイキと活動してもらい、団体の活動も活発にするためには何が必要なのでしょう。本講座では、なぜ市民活動や地域活動にとってボランティアの力が大事なのか、またその力を活かすにはどんな工夫が必要かについて具体的な実践事例を交えてお話しします。

10/30 (水) 14時～16時半

参加者
募集中

場所 町田市民文学館ことばらんど大会議室

対象 地域の困りごとに取り組む町田市内の団体 参加費 500円

※託児はありませんが、お子様連れでもご参加いただけます。

14時～15時 「ボランティアが活躍活動づくり基礎講座」



藤沢市市民活動推進センター センター長
東樹 康雅 氏 (とうじゅ やすまさ)
国内外のボランティア活動の現場を熟知。活動の裏も表も見てきた経験お伝えします。

15時～15時半 「学生の力を活かした活動づくりそのコツとヒミツ」



NPO法人 アクションポート横浜 代表理事
高城 芳之 氏 (たかじょう よしゆき)
横浜で運営する「NPOインターンシップ」で500人以上の学生とNPOをマッチング。学生の本音こっそり教えます！

15時半～16時 グループワーク **16時～16時半** 交流タイム

申し込み
方法

申し込みフォームから

QRコードをアクセスし
必要事項を入力して
お申し込みください。



メールから

info@machida-support.or.jp

参加セミナー・参加回の名前、参加者のお名前、ご所属、
連絡先メールアドレスをお知らせください。

Event Schedule

今年度のイベントスケジュールです。
詳細はホームページを
チェックしてください。

2019年

09/18(水) 19時～21時
@祥雲寺
終了しました ロン
「第1回 社会的孤立について
若者支援の視点から」

10/15(火) 14時～16時
@町田市民文学館ことばらんど
市民活動のための
労務のきほんセミナー

10/18(金) 13時～17時
@町田市役所会議室 2-2
まち“だ”づくりカレッジ
「3年後の未来を考える」

10/30(水) 14時～16時半
Pick Up @町田市民文学館ことばらんど
まち“だ”づくりカレッジ
プラスワンセミナー
ボランティアが活躍
活動づくり基礎講座

11/15(金) 14時～16時半
@町田市役所おうえんルーム
地域でNPO・市民活動が
果たす役割について知る、
考えるセミナー

11/22(金) 13時～17時
@町田市民フォーラム会議室
まち“だ”づくりカレッジ
「活動のパートナーと
お客様を考える」

12/20(金) 13時～17時
@町田市民フォーラム会議室
まち“だ”づくりカレッジ
「事業計画を考える」

2020年

1月下旬 まち“だ”づくりカレッジ
「未来の計画の発表会(公開)」

TAKE FREE



Now! | 町田市地域活動サポートオフィスの近況

第1回 まち“だ”づくりサロン 「社会的孤立について考える —若者支援の視点から—」

9月18日(水)
@高ヶ坂 祥雲寺

まち“だ”づくりサロンは、町田市内で活動する方をゲストに
様々なテーマで参加者同士が対話をする場です。

9月18日(水)第1回「まち“だ”づくりサロン」を高ヶ坂にある祥雲寺で開催しました。
ゲストスピーカーは、NPO法人ゆうどうふ理事長の辻岡秀夫さんです。



辻岡さんからの話題提供



日本社会では、「社会的孤立」つまり「本人が望む、本人に必要な社会的なつながりが欠如した状態」にある若者が急増しており、内閣府の調査によると15～64歳までのひきこもり者は、推計130万人うち15～39歳が約70万人。町田市では、2013年度に保健所が調査を行い、20～64歳のひきこもりは、20世帯に1人いると示唆されました。また、若者支援に対する社会的資源は少なく、特に就労以外の支援は限られている状況にあります。世間の捉え方も「ひきこもりは事情のある人の上起こるもの」という見方が多数です。一方、前述の保健所の調査ではひきこもりやその家族に対する支援に関心がある人が50%弱と決して社会的関心が低いわけではないということも共有されました。途中、「自分は道を外してしまった。もう戻れないですね」といった当事者の声もいくつか紹介されました。

参加者との対話

辻岡さんの話題提供の後には、グループごとに感想や質問を共有、その後は全体共有を行いました。
参加者から提示された質問をいくつか紹介します。

参加者「進学・就職以外のゴールは?」

辻 岡「自分らしく生きていくことを考えるとどこから道は見えてくる。日本の若者はそれを考える機会が与えられていない。ルールから外れた時に初めてその機会に向き合うという皮肉な現象が起きている。」

参加者「訪問支援のタイミングは?」

辻 岡「期待に100%答えなくてもやんわりつながり続ける」

また、「誰にでも起こりうることなのでは?」「そもそも社会が安心・安全な場になっていないのでは?」という声もありました。

終了後、会場に残って議論を続ける参加者が多く、対話の場の価値を再確認する場となりました。

まち“だ”づくりサロンは、定期的開催していきます。ぜひご参加ください。

MEMO

今回の参加費に
スタッフからの寄付をあわせて
公益財団法人ちばのWA地域づくり基金が
設置する「ちば台風15号災害支援基金」に
寄付させていただきました。
祥雲寺様も会場費分を
寄付してくださいました。





Report 04

特定非営利活動法人 ここからねっと

みんなが生きがいをもって歩けるよう一人ひとりに寄り添ったサポート

町田まごころクリニックのカウンセラーの方々を中心に運営されています。町田市役所向かいにあるスペースで「子どもからお年寄り」まで、うつ病・精神疾患・不登校・ひきこもり・ニート・閉じこもり等の社会復帰支援活動として、カウンセリングやきっかけづくりの場の開催を行っています。当事者の方だけでなく、ご家族への支援もされています。十人十色、個々の状況に寄り添ったサポートに対する熱い想いを伺うことができました。町田市ではひきこもり者支援のネットワークが構築されているそうです。今後さらに活動団体が有機的に繋がっていくことが期待されます。

団体からのメッセージ

「ここからねっと」～ここから繋がる～苦しんできたからこそ分り合える仲間がいる。一人で抱えずに仲間と繋がりたい。活動内容はホームページをご覧ください。



団体プロフィール

名称 特定非営利活動法人ここからねっと
所在地 町田市森野2-10-5モリノコタン101
電話番号 042-709-3891
理事長 池亀 厚子

Report 05

町田ダリア園 (社会福祉法人まちだ育成会)

広々とした園内で、工夫の凝らされた働き方・施設運営を展開!

まちだ育成会では、ダリア園や町田市大賀菟絲館でのハス栽培、シイタケ栽培など8つの事業所を運営し、生産活動を中心とした障害のある方の働く場づくりを広く展開されています。今回訪問したダリア園では現在約70名の障害のある方が働いており、花の栽培の他、お土産の製作・販売、ブルーベリーの栽培、タケノコの採取などの仕事に取り組まれています。約15,000㎡の敷地に約5百品種、約4千株のダリアが栽培され、ガーデニング用の苗の栽培・販売も行っています。ダリアを楽しめるイベントの開催や新種ダリアの名前の公募など園を楽しむ工夫も様々取り組まれています!

団体からのメッセージ

月夜のダリア園を開催します。10月12日～14日 18時～20時半まで(受付20時まで)ライトアップされたダリア達が昼間とは違う顔で、皆様をお待ちしております。幻想的なダリアを見にお越しください。



団体プロフィール

名称 町田ダリア園 (社会福祉法人まちだ育成会)
所在地 町田市山崎町1214-1
電話番号 042-791-4888
理事長 齊藤 喬

Report 06

NPO法人アクティブSITA

頼れるITの専門家集団! パソコン相談室や子供向けプログラミング教室も開催

団体名の「SITA」は「サイタ」と読み、シニアITアドバイザー(Senior IT Advisor)の略。経験豊富な有資格者がニーズに合わせた多様なIT講座や相談会・HP制作を実施しています。最近では新たに「ビスケットの会」を立ち上げ、子供向けプログラミング教室もスタート。情報化が進む中で、ITの知識、技術が一定程度あることが生活上不可欠な時代になりつつある中、シニアの生活においても大切な要素ととらえ、その普及に取り組まれています。ITの相談をしたいという市民活動団体も多い中、身近にこうした専門家がいるのは心強いですね!

団体からのメッセージ

パソコン相談室は毎週水曜日に開催し、訪問サポートやHP制作は随時受付しています。各種のIT講座やビスケットプログラミング体験会も開催しています。



団体プロフィール

名称 NPO法人アクティブSITA
所在地 東京都町田市成瀬4-2-7
電話番号 042-721-9896
代表理事 荒木 衛



今回紹介したセミナー以外にもこれまでに開催したセミナーのレポートもホームページに掲載しています。ご関心のある方はそちらもチェックしてください!



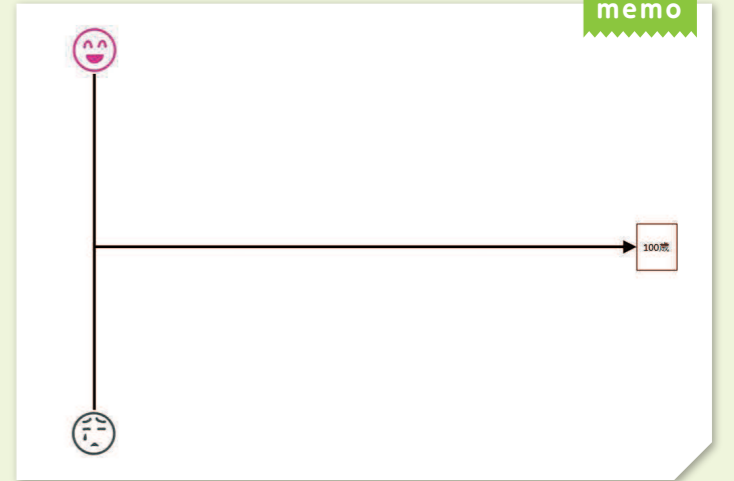
Activity 03

自分×地域の困りごと=まち“だ”づくり ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス ことはじめNIGHT

6月21日(金)
町田市役所2階おうえんルーム

POINT! ソーシャルビジネス/コミュニティビジネスは、地域に喜びを増やし、悲しみを減らすもの。

ソーシャルビジネス(SB)、コミュニティビジネス(CB)の概論の後、「自分×地域の困りごと」についてワークを交えて掘り下げました。「自分」を知るワークでは、100歳までの「自分史の作成」にチャレンジ。自分の人生の時間軸の中で影響を受けた人やコトを振り返ることから自身の価値観を整理することができます。「町田」を知るワークは「2018年度町田市市民意識調査」をもとにした町田市クイズにチャレンジ。SB/CBは、地域に喜びを増やし、悲しみを減らすもの。やりたいこと【価値観】、やれること【強み】とともにやるべきこと【社会のニーズ/ウォンツ】を把握し、3つの重なることを意識することが大事です。



参加者アンケート

- 市民意識調査で町田を知る機会となった。ソーシャルビジネスを知る機会となった。
- 組織の立ち上げについて話していても一致しなかった部分が変わりやすくなりクリアになった。



Activity 04

SNS広報きほんセミナー

7月29日(水)
町田市民フォーラム学習室

POINT! 「広報の目的」、「伝えたい内容」、「伝えたい相手」の優先度をつけることが効果的な広報活動につながる。

広報計画シート

発信目的	属性情報	イメージ(似顔絵)
「何のために」	「誰に」	
		1日の行動

memo

「そもそもSNSとは?」からスタートし、SNS上でのルール・マナーの考え方やSNS市場の規模感の把握など大枠をつかみながら、Facebook・Twitter・Instagramそれぞれの特徴や分析方法などを説明。後半は、「【何のために発信するか】=目的」と【「誰に」=いちばん届けたい一人を描く(ペルソナ)】を整理するワークを実施。ペルソナは、あなたもその人物が存在するかのように具体的に想定するのがポイント。広報の目的、伝えたい内容・相手の優先度をつけることが効果的な広報活動につながります。

参加者アンケート

- SNS毎の性格の違いがわかりました。
- SNSの広報についてあまり知らなかったので参考になりました。
- ペルソナワークは役に立った。

